

Rep
ort

身近な自然の観察・記録活動 石神井川緑道版

2022.1.28

一人ひとりの自主活動 だれでも参加できます

活動：月2回(第二木曜日・第四金曜日)10:00より(雨天中止)
コース：帝京大学付属病院北詰・御成橋たもと → 金沢橋
問合せ・連絡先：090-8646-9757 木村松夫 com-matchan@hotmail.co.jp

2月の石神井川観察は、2/10(木)、2/25(金) 9:40JRマンション前
10:00 帝京大学病院北側の御成橋たもと出発

いきなりクイズ!

この写真に写っている野草はなあに?



プリントアウトした画面では識別しにくいかもしれませんが、PDFファイルをパソコンで見るとかなり分かるはずです。一面に広がるアメリカフウロに混じってヒメオドリコソウ、フラサバソウなどが葉を伸ばしています。他の場所ではカラスノエンドウ、オオ

イヌノフグリ、ホトケノザ、オランダミミナグサ、ヤエムグラ、ミチタネツケバナ、チチコグサモドキ、ナガミヒナゲシなど、主だった春の野草はみんな葉を伸ばしていました。まだ寒い1月の終わりですが、春の野草は開花に向けて一斉にスタートラインについています。



フライングする野草もあります。一足早く咲いたのはフラサバソウ（上の写真左）の群落の中に小さな花をつけているのをクローズアップしたのが右の写真。花も葉も同じオオバコ科のオオイヌノフグリと似ていますが、もっと小型で、萼（がく）の外側も葉裏も茎も全身が毛だらけ。きちんと観察すると見分けがつかず。



続けて、よ〜く地面を観察しているとヒメオドリコソウもぽちりと咲いていました。

観察活動の 往(行き) 路と復(かえり)路

観察開始の9:40頃はまだ花がしぼんでいたノゲシ。12:30頃の帰り道ではぽちりと咲いていました。1日の中でも、植物の様相は日当たりや気温の変化によって変化します。やっぱり生き物なのです。絶えず動きを止めません。

